

看護 かごしま

Nursing
Kagoshima



<http://k-kango.jp>

2016.Spring Vol.163



※表紙写真を募集しています。募集要綱を最後のページに載せておりますので、ご覧ください。

◆会長あいさつ	2
◆平成 28 年度 鹿児島県看護協会通常総会骨子	3
◆職場紹介	15
◆めざせ認定看護師	16
◆平成 27 年度実習指導者講習会を受講して	18
鹿児島県看護協会のロゴマークを募集いたします。	
◆性教育推進事業支援委員会 性教育研修会報告	19
災害看護検討委員会	
◆訪問看護研修検討委員会	20
第 49 回鹿児島保健看護研究学会報告	
平成 27 年度 鹿児島県看護協会会員施設代表者説明会	
◆平成 28 年度 看護の日記念事業のご案内	21
お知らせ	
◆会員特典ハーモニーランド無料ご招待のご案内	22
◆地区だより	23
◆ナースセンターだより	25
◆理事会報告	28

平成 27 年度鹿児島県看護協会会員数

保 健 師	425 人
助 産 師	358 人
看 護 師	10,033 人
准看護師	920 人
合 計	11,736 人

平成 28 年 3 月 31 日現在
※前年度より 91 人増



～新年度を迎えて～

今年の3月は、初の鹿児島マラソンが開催され、桜島に見守られながら春のさつま路を一万人以上のランナーが駆け抜けました。3月末は北海道新幹線が開通となり、鹿児島から函館まで約2,300kmでつながりました。自分の力で走るもよし、高速で効率的に旅するもよしと、楽しみ方も多様になりました。



公益社団法人
鹿児島県看護協会会長

平川涼子

皆様におかれましては、新年度を迎え、新人職員や部署異動したスタッフの研修等、お忙しい毎日をお過ごしのことと思います。日頃から本会活動に対しまして、ご理解・ご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、2025年を見据え、社会保障制度改革の動きが加速しております。少子・超高齢・多死社会を乗り切るには様々な課題がありますが、変革の時となる今、看護職自身も働き方や地域での役割について再考する時期であると思います。

本年度の鹿児島県看護協会通常総会は、5月21日（土）鹿児島県市町村自治会館で9時30分から開催いたします。午後は、三職能合同研修として日本看護協会の井伊専務理事を迎え、「看護の将来ビジョン」についてご講演いただきます。

本年度の重点事業は以下の4点です。

- 1、地域包括ケアシステムの推進
- 2、看護職が働きやすい環境づくりの推進
- 3、看護の質向上及び看護職の役割拡大に向けての事業推進
- 4、会員サービスの強化と会員増

その他、新規の取り組みとして、医療・介護をつなぐ研修支援、診療所・小規模施設で働く看護職員研修支援、准看護師研修の充実、男性看護職交流会、働くパパママ支援研修等計画いたしました。また、統括保健師育成研修や助産師認証制度の推進、看護師のクリニカルラダーの普及・啓発など、看護職のキャリアアップ支援も強化してまいります。

今年度も皆様から様々なご意見をいただきながら本会事業をすすめてまいります。そして、他団体や地域、行政等との連携を深め、県民の健康生活の向上につながるよう活動してまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

医療事故調査支援委員会を設置しました！！

平成26年6月に医療法の一部が改正され「病院等の管理者は、医学技術に関する学術団体その他の厚生労働大臣が定める団体に対し、医療事故調査を行うために必要な支援を求めるものとする」と定められました。

これを受け、本会では上記委員会を設置、医療事故調査等支援団体として日本看護協会・鹿児島県医師会等（いずれも支援団体）と連携し、医療事故調査制度全般に関することや病院の管理者から医療事故発生時の調査等に関する相談に対応いたします。

【支援体制】

- 1) 支援委員：8名（本会の業務執行理事3名と外部委員5名）
- 2) 相談窓口：月曜日から土曜日、時間帯は9:00～17:00
本会電話番号（099-256-8081）

本会が対応できない日・祭日・時間帯は、医療事故相談支援センター（03-3435-1110）が対応

- 3) 医療機関から支援委員の派遣要請があった場合

院内事故調査委員会の立ち上げや初期対応等の相談など、要請した病院等の希望を重視し、支援委員の派遣を決めます。

平成 28 年度 通常総会について

平成 28 年度 公益社団法人鹿児島県看護協会通常総会プログラム

9:00 受付	開催日 平成 28 年 5 月 21 日 (土)
9:20 オリエンテーション	場所 鹿児島県市町村自治会館
9:30 開会	
物故会員への黙祷	
会長挨拶	
来賓祝辞	
来賓紹介	
祝電披露	
鹿児島県看護協会長表彰	
10:00 休憩	
10:15 総会開会	
議長団の選出	
議事録署名人選任	
10:20 審議	
議題	
第 1 号	平成 27 年度事業報告書の内容報告の件
第 2 号 第一号議案	平成 27 年度収支決算報告(案)及び監査報告の件
第 3 号 第二号議案	定款及び定款施行細則の改正の件
第 4 号 第三号議案	平成 28 年度改選役員及び推薦委員の選出の件
第 5 号 第四号議案	平成 29 年度日本看護協会代議員・予備代議員の選出の件
第 6 号	平成 28 年度事業計画書の内容報告の件
第 7 号	平成 28 年度収支予算報告の件
	平成 28 年度選挙管理委員任命
11:50 鹿児島県看護協会ロゴマーク製作者表彰式	
12:00 新旧役員挨拶	
看護協会歌合唱	
12:15 閉会	

平成 28 年度 三職能合同集会プログラム

13:30 開会	開催日 平成 28 年 5 月 21 日 (土)
会長あいさつ	場所 鹿児島県市町村自治会館
特別講演	
公益社団法人日本看護協会 専務理事 井伊 久美子 氏	
テーマ「看護の将来ビジョン」	
15:00 各職能委員長報告	
保健師職能委員長 西原 洋子	
助産師職能委員長 吉留 厚子	
看護師職能 I 委員長 岩下 邦子	
看護師職能 II 委員長 富吉 奈美子	
15:30 閉会	

総会要綱及び地区集会要綱の発送について

総会要綱及び地区集会要綱は会員全てではなく、個人会員は全員、勤務先のある方は施設ごとに希望数だけ配布しております。

今年は昨年度と同じ数を施設へ発送予定です。追加・訂正をされたい施設は当協会までご連絡ください。
なお、新規施設には人数分お送りいたします。

第一号議案 平成27年度収支決算報告及び監査報告（承認）

当日会場で配布

第二号議案 定款及び定款施行細則の一部改正（案）

- 1 公益社団法人鹿児島県看護協会定款の一部を次のように改正する。

第10条中「(4)正当な理由なく3箇月以上会費を滞納したとき。」を「(4)第7条の会費を、その事業年度における3月末までに納入しなかったとき。」に改める。

附則

この定款は、総会の承認を得た日から施行する。

- 2 公益社団法人鹿児島県看護協会定款施行細則の一部を次のように改正する。

第3条 「入会しようとする者は、入会申込書に会費を添えて、会長に提出すると共に公益社団法人日本看護協会への入会についても同様に本会を通じて入会の手続きをしなければならない。」を「入会しようとする者は、日本看護協会の指定する手続きにより入会の申し込みをしなければならない。」に改める。

第4条中「正会員が退会しようとするときは退会届を提出し、本会を経由し公益社団法人日本看護協会会長に申し出るものとする。」を「正会員が退会しようとするときは会員証を添えて退会届を提出し、本会を経由し公益社団法人日本看護協会会長に申し出るものとする。」に、「2 前項の場合において、本会は正会員名簿登録を抹消しなければならない。」を「2 正会員が退会した場合、本会は正会員名簿登録を抹消しなければならない。」に改める。

第6条中「会員が住所又は就業地を変更したときは、新住所又は就業地の所属都道府県看護協会に届け出なければならない。」を「会員が、氏名、住所又は勤務地を変更したときは、本会を経由し公益社団法人日本看護協会に届け出なければならない。」に改める。

第6条「2前項届け出後において会員の所属は新住所、又は新就業地の都道府県看護協会に変更される。この場合新所属の都道府県看護協会は正会員に関する書類を旧都道府県看護協会に照会するものとする。」を削除する。

附則

この定款施行細則は、総会の承認を得た日から施行する。

(提案理由)

公益社団法人日本看護協会は、平成29年度からこれまでの会員登録方法を新「会員情報管理体制」に変更することとしている。本会においても同会員情報管理体制とするため、定款及び定款施行細則の一部を改正しようとするものである。

※公益社団法人 鹿児島県看護協会 定款 新旧対照表

※下線部を改正

改正案	現 行
<p>第3章 (会員の資格喪失)</p> <p>第10条 前2条の場合のほか、会員は次の各号の一に該当する場合には、その資格を喪失する。</p> <p>(1) 看護職の資格を喪失したとき。 (2) 成年被後見人又は被保佐人になったとき。 (3) 死亡し、又は失踪宣告を受けたとき。 <u>(4) 第7条の会費を、その事業年度における3月末までに納入しなかったとき。</u> (5) すべての正会員が同意したとき。 (6) 公益社団法人日本看護協会の会員であったものが、その資格を喪失したとき。</p>	<p>第3章 (会員の資格喪失)</p> <p>第10条 前2条の場合のほか、会員は次の各号の一に該当する場合には、その資格を喪失する。</p> <p>(1) 看護職の資格を喪失したとき。 (2) 成年被後見人又は被保佐人になったとき。 (3) 死亡し、又は失踪宣告を受けたとき。 <u>(4) 正当な理由なく3箇月以上会費を滞納したとき。</u> (5) すべての正会員が同意したとき。 (6) 公益社団法人日本看護協会の会員であったものが、その資格を喪失したとき。</p>

※公益社団法人 鹿児島県看護協会 定款施行細則 新旧対照表

※下線部を改正

改正案	現 行
<p>第2章 会員 (入会の手続き)</p> <p>第3条 入会しようとする者は、<u>日本看護協会の指定する手続きにより入会の申し込みをしなければならない。</u></p> <p>2 会員の入会を受理した場合において正会員名簿に登録し、公益社団法人日本看護協会員正会員においても登録し、会員証を交付するものとする。</p> <p>(退会の手続き)</p> <p>第4条 正会員が退会しようとするときは会員証を添えて退会届を提出し、本会を経由し公益社団法人日本看護協会会長に申し出るものとする。</p> <p>2 <u>正会員が退会した場合、本会は正会員名簿登録を抹消しなければならない。</u></p> <p>(住所及び就業地の変更)</p> <p>第6条 会員が氏名、住所又は勤務地を変更したときは、本会を経由し公益社団法人日本看護協会に届け出なければならない。</p> <p>2 削除</p>	<p>第2章 会員 (入会の手続き)</p> <p>第3条 入会しようとする者は、入会申込書に会費を添えて、会長に提出すると共に公益社団法人日本看護協会への入会についても同様に本会を通じて入会の手続きをしなければならない。</p> <p>2 会員の入会を受理した場合において正会員名簿に登録し、公益社団法人日本看護協会員正会員においても登録し、会員証を交付するものとする。</p> <p>(退会の手続き)</p> <p>第4条 正会員が退会しようとするときは退会届を提出し、本会を経由し公益社団法人日本看護協会会長に申し出るものとする。</p> <p>2 <u>前項の場合において、本会は正会員名簿登録を抹消しなければならない。</u></p> <p>(住所及び就業地の変更)</p> <p>第6条 会員が住所又は就業地を変更したときは、新住所又は就業地の所属都道府県看護協会に届け出なければならない。</p> <p>2 前項届け出後において会員の所属は新住所、又は新就業地の都道府県看護協会に変更される。この場合新所属の都道府県看護協会は、正会員に関する書類を旧都道府県看護協会に照会するものとする。</p>

第三号議案 平成28年度改選役員及び推薦委員の選出

(理由) 役員・推薦委員の任期終了により、定款及び定款施行細則に基づき、役員・推薦委員の選出を求める。

平成28年度 役員候補者

役職名	定数	改選	氏名	現・新
会長	1	1	田畠千穂子	新
副会長	2	2	下仮屋道子	新
			中重敬子	新
専務理事	1	1	原田ケイ子	現
常任理事	1	1	内司啓子	新
助産師職能理事	1	1	園田良子	新
看護師職能理事I	1	1	松原幸江	新
准看護師理事	1	1	中島久美子	現
地区理事	鹿児島	1	山本むつみ	新
	南薩	1	中村昭子	新
	出水	1	本藏信子	新
	大隅	1	伊比礼まり子	新

平成28年度 推薦委員候補者

職能名	候補者名	現・新
保健師	上室真由美	新
助産師	山下由紀子	新
	明日育子	新
	寺田るみ	新
看護師	谷川智子	新
	小林聖子	新
	岡部なるみ	新

候補者紹介

役職	候補者名	所属	協会活動歴	協会活動に対する抱負
会長	田畠千穂子	鹿児島大学医学部・歯学部附属病院	副会長2年間 認定看護管理者 教育運営委員2年間 WLB推進評価委員2年間 医療・看護安全対策検討委員 ハラスマント委員 他	この度、会長への推薦を受けました。鹿児島県の医療・福祉・介護の課題や協働に看護職への期待は大きく、ネットワークを活かし関係機関とともに公益社団法人として社会的責任を果たせるよう努めて参りたいと思います。
副会長	下仮屋道子	社会医療法人恒心会 恒心会おぐら病院	大隅地区理事4年間 大隅地区副地区長2年間 看護師職能委員2年間 教育委員2年間 認定看護管理者教育運営委員6年間 他	この度、副会長の推薦を受けました。加速する少子超高齢社会においては、安心で、安全かつ効果的な医療・看護を効率的に提供することが求められ、施設はもとより在宅・地域における看護職への役割拡大はますます大きくなっています。看護職が人々の“生活を支える”専門職として、幅広い分野で多様な役割期待に応えられるよう取り組んでいきたいと思いますので皆様のご支援・ご鞭撻どうぞよろしくお願い致します。
副会長	中重敬子	公益財団法人慈愛会	新人看護職員卒後研修検討会委員4年間	この度副会長の推薦を受けました。病院機能分化、必要な病床、必須となる在宅医療を守るために看護の質向上、看護機能の強化・推進を図り、県民会員皆様のニーズに応えられるよう協会の活動に力を注ぎたいと思います。
専務理事	原田ケイ子	公益社団法人 鹿児島県看護協会	専務理事2年間 保健師職能委員長2年間 保健師職能委員2年間 教育委員2年間 記念誌編集委員会1年間 他	この度、専務理事として2期目の推薦を受けました。2015年問題といわれる少子超高齢化社会において看護職能団体として役割を果たせるよう会員の方々、関係団体との連携・連帯を図るとともに本会の体制強化に努めてまいりたいと思います。
常任理事	内司啓子	個人会員	社会経済福祉委員2年間 副会長1年間	在宅で生活することを基盤におく看護の提供、働きやすい環境の整備、看護職の役割拡大、少子超高齢化社会に対応する人材育成等今これからを見据えた活動が展開できるよう皆様の協力を頂きながら努力したいと思います。

役 職	候補者名	所 属	協会活動歴	協会活動に対する抱負
助産師職能理事	園 田 良 子	鹿児島市立病院	推薦委員1年間 規約委員 4年間 教育委員 4年間 助産師職能委員 1年間	この度、助産師職能理事の推薦を受けました。母子保健を取り巻く環境は晩婚化、晩産化等により大きく変化してきています。切れ目のない妊娠婦・乳幼児への支援のために、地域母子保健活動の推進に努めてまいります。
看護師職能理事Ⅰ	松 原 幸 江	いちき串木野市医師会立 脳神経外科センター	川薩地区理事 2年間 看護師職能委員 2年間	この度、看護師職能Ⅰの理事を引き受けました。地域包括ケアシステムの構築が推進されるなか、病院領域における看護職の役割は重要となってくると思います。職能Ⅱと協働しながら活動していきます。どうぞよろしくお願いします。
准看護師 理事	中島久美子	公益財団法人慈愛会 谷山病院	准看護師理事 2年間 看護師職能委員 4年間	この度 2期目の准看護師理事の推薦を受けました。看護協会の運営や活動に係わる中で少しでも役目を果たせるように努力していきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。
鹿児島地区 理事	山本むつみ	鹿児島市立病院	教育委員 2年間 老年看護学会査読委 員 1年間	この度、鹿児島地区理事の推薦を受けました。鹿児島地区協会員の皆様の声を聞きながら活動が円滑に運営されるように、一生懸命取り組んでまいります。御指導・御支援を賜りますようよろしくお願い致します。
南薩地区 理事	中 村 昭 子	鹿児島県立薩南病院	教育委員 6年間 南薩地区評議員 2年間 南薩地区副地区長 1年間	この度、南薩地区理事を務めさせていただきました。会員の皆様のお役にたてるよう地区活動に取り組んでまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。
出水地区 理事	本 戒 信 子	出水総合医療センター	出水地区副地区長 2年間	この度、出水地区理事への推薦を受けました。役割が果たせるよう委員の皆様と連携を取りながら地区活動を推進していきたいと思います。よろしくお願い致します。
大隅地区 理事	伊比礼まり子	公益社団法人肝属郡 医師会 肝属郡医師会立病院	大隅地区副地区長 2年間	この度、大隅地区理事を務めさせていただきました。会員の皆様に御指導・御支援をいただきながら微力ではありますが、頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。
推薦委員 (保健師)	上室 真由美	鹿児島県保健福祉部 保健医療福祉課	出水地区公益委員 2年間 南薩地区公益委員 1年間	委員としての役割が果たせるよう頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いします。
推薦委員 (助産師)	山下由紀子	社会福祉法人恩賜財団 済生会川内病院	川薩地区教育委員 2年間	この度、推薦委員の推薦を頂きました。その責任の重さを感じ不安ではありますが、他の委員の方々と協力し、看護協会の活動が円滑に運営できるように頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。
推薦委員 (看護師)	明 日 育 子	医療法人潤愛会 鮫島病院	鹿児島地区推薦委員 1年間	看護協会の運営・活動に少しでも貢献し、委員としての役割が果たせるよう努力したいと思います。よろしくお願いいたします。
	寺 田 る み	枕崎市立病院	なし	今回推薦委員の推薦を受けました。委員として役割が果たせるように頑張りたいと思います。よろしくお願いします。
	谷 川 智 子	医療法人クオラ クオラリハビリテー ション病院	川薩地区理事 4年間 認定看護管理者教育 運営委員 6年間 新人看護職員卒後研 修検討委員	改選される役員、委員を推薦するにあたり、委員会の役割について理解を深め、その任務を担い得るに適正な人を公平に推薦したいと存じます。
	小 林 聖 子	霧島市立医師会医療 センター	なし	看護協会の活動や円滑に運営されますよう少しでもお役にたち、お手伝いができるよう頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。
	岡 部 なるみ	社会医療法人恒心会 恒心会おぐら病院	大隅地区公益委員 2年間	今回、貴重な機会をいただき、委員としての役割が果たせるよう努力します。よろしくお願いします。

第四号議案 平成 29 年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出

日本看護協会定款並びに定款細則では、都道府県看護協会に委託して、代議員及び予備代議員の選出をすることとなっている。

日本看護協会の代議員数は 750 名であり、都道府県ごとに正会員数に応じた割合の代議員を選出することになっており、鹿児島県看護協会の定数は 12 人であるので、代議員 12 人と予備代議員 12 人の選出について提案する。

なお、選出された者は、平成 28 年度日本看護協会通常総会に出席し、鹿児島県看護協会選出の代議員及び予備代議員（代議員が欠席する場合に出席）として議決権を行使するものである。

平成 29 年度 日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員候補者一覧

代 議 員 (12 名)	氏名	施設名
	西原 洋子	北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)
	園田 良子	鹿児島市立病院
	堂地 由紀子	医療法人青仁会 池田病院
	原口 悅江	公益財団法人慈愛会 介護老人保健施設 愛と結の街
	中島 久美子	公益財団法人慈愛会 谷山病院
	山本 むつみ	鹿児島市立病院
	中村 昭子	鹿児島県立薩南病院
	福山 千美子	医療法人恵愛会 上村病院
	堀口 真美子	公益社団法人 出水郡医師会立第二病院
	敷根 富貴子	医療法人恵明会 整形外科松元病院
	猪松 美穂	医療法人青仁会 池田病院
	榊 愛香	鹿児島県立大島病院

予 備 代 議 員 (12 名)	氏名	施設名
	江篠 平菊代	鹿児島市南部保健センター
	的場 美香	独立行政法人 国立病院機構指宿医療センター
	秋丸 美智代	公益財団法人慈愛会 今村病院分院
	富吉 奈美子	鹿児島市立病院
	本山 ゆかり	医療法人徳洲会 鹿児島徳洲会病院
	松崎 みほの	社会医療法人天陽会中央病院
	屋 和代	鹿児島県立薩南病院
	久留須 加寿美	公益社団法人 川内市医師会立市民病院
	戸崎 明美	出水総合医療センター
	増田 いづみ	霧島市立医師会医療センター
	上之原 浩美	医療法人青仁会 池田病院
	直原 千里	国立療養所和光園

平成 28 年度 選挙管理委員（議長の任命）

選挙管理委員会は、定款施行細則第 25 条により設置されており、選挙及び選挙管理委員会に関する規程第 5 条により、11 人をもって組織し、各地区長が推薦し、議長が任命することとなっている。任務は、同規程第 6 条により、選挙に関する公示、立候補又は立候補届出の受理、立候補者及び推薦候補者の公示、投票及び開票の管理等である。

なお、これらの業務を円滑に行うため、任期は、平成 28 年 5 月 22 日（総会の翌日）から平成 29 年度総会の当日までとする。

	地区名	氏名	勤務先
1		小林 由美子	社会福祉法人向陽会 やまびこ医療福祉センター
2	鹿児島	谷村 昭子	鹿児島市立病院
3		吉元 祐嗣	医療法人慈風会 厚地脳神経外科病院
4	南薩	黒岩 久美	医療法人全隆会 指宿竹元病院
5	川薩	牟禮 正秀	川内市医師会立川内看護専門学校
6	出水	新井田 香	公益社団法人 出水郡医師会広域医療センター
7	姶良伊佐	島畠 吟子	鹿児島県立北薩病院
8		検討中	
9	大隅	田代 良一	垂水市立医療センター 垂水中央病院
10		柊木野 明美	医療法人青仁会 池田病院
11	大島	西田 和仁	公益財団法人慈愛会 奎美病院

平成 27 年度事業報告（議題第 1 号）

平成 27 年度は、定款第 4 条に基づく 6 つの事業や重点事業に取り組んだ。

※重点事業

- 1、看護職確保対策の強化・推進
- 2、病院・在宅・介護領域をつなぐ看護機能の強化・推進
- 3、看護の質向上及び看護職の役割拡大に向けての事業推進
- 4、会員サービスの強化と会員増

※平成 27 年度におけるトピックス及び主な新規の取り組み

● トピックス

- ①看護師の特定行為に係る指定研修機関設置等に係る要望書及び要請書の提出
鹿児島県知事・鹿児島大学・鹿児島大学医学部附属病院長・鹿児島大学保健学科長・鹿児島県医師会長
- ②離職届出システム「とどけるん」始動 ③医療事故調査支援委員会設置
- ④地域医療構想検討会及び懇話会への参画 ⑤研究倫理委員会規約改正

● 新規の取組

- ①離職届け出制度への対応：登録制度を活用し、就業相談の強化と再就業促進
- ②看護職員就業相談事業：地域のハローワークと連携し、就業・進学の促進
- ③第 5 次 NCCS システムの広報・活用：求人施設及び求職者増とマッチング機能の強化
- ④医療・介護の連携事業の推進：多職種合同研修、退院支援研修等
- ⑤地域包括ケアシステムへの参画：市町村との連携
- ⑥訪問看護ステーションかごしまの ICT 化：看護サービスや記録の効率化、勤務環境整備
- ⑦訪問看護師研修の多様化（基礎研修、育成研修、管理者研修）
- ⑧九州地区高齢者ケア施設管理者交流会の開催
- ⑨看護師の特定行為に係る研修制度の普及：研修制度の周知、研修機関設置の要望活動
- ⑩看護基礎教育と継続教育の連携強化
- ⑪助産師出向支援（研修支援）事業
- ⑫認定看護師の交流会
- ⑬新会員システムへの対応準備・広報：平成 29 年度実施に向け、説明や会員メリットの広報等

27 年度決算報告について（第一号議案）

平成 27 年度決算については、監事の監査を受けたうえで理事会（5 月 14 日）の承認を経て、28 年度通常総会（5 月 21 日）に議案として提出します。なお、理事会の承認を受けた後、決算の概要をホームページに掲載します。

平成 28 年度重点事業について（議題第 6 号）

2025 年を見据え、病院の機能分化・連携、在宅・医療介護の推進、勤務環境の改善、地域包括ケアシステムの構築等、地域の実情に応じて医療・介護サービス体制を構築する動きがすすんでいます。人口減少がすすむ中、時代に応じた看護職の人材育成や役割拡大、専門性の高い地域活動等、看護職をキーパーソンとした地域づくりへの期待も高まっています。

鹿児島県内の状況を見ますと、県保健福祉部の看護職需給見通し（H27 年度）においては、99% とほぼ満たっておりますが、鹿児島市内に看護職が集中している現状があり、格差が目立っております。地域医療構想の策定もすすんでおり、県全体と 2 次医療圏毎に今後に向けた計画が提示されます。保健医療福祉のパラダイムシフトが求められる今、

看護職においても、看護の均霑化と質・効率性の面から看護の場をさらに多様化していくことが必要と考えます。

平成 28 年度は日本看護協会の重点政策と連動した以下の 4 つを重点事業としてあげました。例年度と大きく変わっておりませんが、様々な事業を通して地域への貢献、看護職確保、看護の質の向上など、さらに推進してまいりたいと思います。

平成 28 年度重点事業

- 1、地域包括ケアシステムの推進
 - 1) 地域包括ケアシステムへの参画・推進
 - 2) 医療・介護をつなぐ研修等の推進
 - 3) 訪問看護ステーションの機能強化・マネジメント力向上
- 2、看護職が働きやすい環境づくりの推進
 - 1) 看護職の勤務環境改善事業の推進
 - 2) 看護職確保・定着支援及び県内就業の推進
 - 3) 県内ハローワークとの連携推進
- 3、看護の質向上及び看護職の役割拡大に向けての事業推進
 - 1) 継続教育の多様化及び充実
 - 2) 特定行為研修制度の普及
 - 3) 保健師・助産師・看護師・准看護師への支援
 - 4) 看護基礎教育と継続教育の連携強化
- 4、会員サービスの強化と会員増
 - 1) 新会員情報管理システムの広報及びシステム管理体制の強化
 - 2) 会員特典の拡大・会員増

※県内の看護職を取り巻く状況等

看護職及び看護協会の概要	○県内の看護職就業者数（平成 26 年末） <ul style="list-style-type: none"> ・職種別：保健師 881 人、助産師 554 人、看護師 20,276 人、准看護師 10,155 人　計 31,866 人
	○看護協会会員数（平成 28 年 3 月末） <ul style="list-style-type: none"> ・会員数 11,736 人、入会率は就業者（平成 26 年末）の 36.8%（全国 45.6%） ・職種別入会率：保健師 425 人（48.2%，全国 45.6%），助産師 358 人（64.6%，全国 72.3%），看護師 10,033 人（49.5%，全国 58.6%），准看護師 920 人（9.1% 全国 11.8%） ※全国は平成 25 年度の入会率
	○県内看護師養成状況（平成 27 年 4 月末現在） <ul style="list-style-type: none"> ・保健師 3 校、助産師 3 校、看護師 25 校（大学 2 校、3 年課程 13 校、5 年一貫 6 校、2 年課程 4 校）、准看護師 5 校 *助産師は平成 26 年度から大学院で養成（1 校）
	○看護職の離職率（日本看護協会調査） <ul style="list-style-type: none"> ・常勤看護職員：平 22 県 11.3%（全国 11.2%）平 23 県 10.9%（全国 10.9%）平 24 県 10.7%（全国 11.0%） ・平成 26 県 10.4%（全国 11.0%）平成 27 年 3 月 11 日現在、日本看護協会ホームページ
	○認定看護師等（平成 28 年 3 月 11 日現在、日本看護協会ホームページ） <ul style="list-style-type: none"> ・認定看護師 223 人（21 分野中不妊症看護 0），専門看護師 4 人、認定看護管理者 24 人 *認定看護師は、前年度より 40 人増加。
	○看護師の副院長：13 人程度
	○災害支援ナース登録数：94 人（平成 28 年度 3 月末現在）
	○県看護協会医療安全ネットワーク：7 地区
	○各種委員会：種類 23（職能 4、常任 8、特別 11）委員数 165 人
	○広報手段：ホームページ、広報紙（看護かごしま、季刊）
人口	○県等委員就任：県・鹿児島市等委員 93、各市町村認定審査会委員、各市町村障害区分認定審査会委員
	○協会事業：無料職業紹介所、訪問看護ステーションかごしま、居宅介護支援事業所
9	人口 1,700,242 人、65 歳以上人口 26.5%，75 歳以上人口 14.8%，年少人口 13.7% （平成 22 年国勢調査）
	人口 1,669,110 人、65 歳以上人口 28.6%，75 歳以上人口 15.8%，年少人口 13.7% （平成 26 年鹿児島県年齢別推計人口調査）

平成 28 年度事業計画（議題第 6 号）

本会は、公衆衛生の向上を目的とした公益目的事業並びにその公益目的事業の推進に資するための事業等を 7 つの地区と連携し、次のとおり行う。

○事業（定款第 4 条）

1. 看護教育及び学会等学術振興に関する事業
2. 看護職の労働環境の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業
3. 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事業
4. 地域ケアサービスの実施及び促進等による県民の健康及び福祉の増進に関する事業
5. 日本看護協会との相互協力及び連携に関する事業
6. その他本会の目的を達成するために必要な事業

○主な新規の取組

1. 医療・介護をつなぐ研修支援
2. 地域での介護予防、重症化予防対策の推進
3. ナースセンターの運営・機能の強化
4. 看護師のクリニカルラダー・看護実践能力認証制度の普及啓発及びキャリアアップ支援
5. 診療所・小規模病院・施設で働く看護職員研修支援
6. 准看護師の研修支援
7. 看護師の特定行為に係る研修制度の広報及び研修ニーズの把握
8. 看護職の役割拡大に向けた職能活動の強化
9. 行政・看護基礎教育機関との連携強化
10. 研修ポイント制の広報及び利用促進
11. 看護職の出向研修の検討及び実施
12. 施設代表者会議の定期開催
13. 男性看護職交流会

1. 看護教育及び学会等学術振興に関する事業

★新規

項目	内 容	関係委員会等
1 看護教育制度に関する情報収集、広報		
1) 看護基礎教育について	a) 日本看護協会理事会出席 b) 厚生労働省審議会等の動向把握	・業務執行理事
2) 保健師・助産師教育大学院化に関すること	a) 助産師教育大学院の周知 b) 保健師教育大学院に関する情報収集	・職能委員会
3) 准看護師への支援	重点 3 a) 進学支援 b) 研修支援：現状調査と研修ニーズの把握 c) 関係機関団体との連携：3年課程への移行について d) 情報収集、地区等での研修支援 ★ a) 県への要望 a) 看護基礎教育と継続教育の連携強化 b) 特定分野における実習指導者講習会 ★ c) 行政・看護基礎教育機関との連携 ★	・地区長 ・業務執行理事 ・職能委員会
4) 教員養成講習会について		
5) 看護職員の能力向上対策研修事業 (特定分野における実習指導者講習会)	重点 3 a) 保健師研修会：実践力を高める研修（助産師職能と合同研修）★ b) 助産師研修会：クリニカルラダーⅢ認証制度の推進（地区での研修含む） c) 看護師Ⅱ研修会：こころの健康づくりメンタルヘルス等研修 d) 介護・福祉施設等で働く看護師研修会：他職種連携、看取り★ e) 准看護師研修会：コミュニケーションスキルアップ★	・教育委員会
2 継続教育の充実		
1) 県協会研修会の企画と実施 ①一般研修 (衛星放送、インターネット配信含む)	重点 3 a) 教育研修事業の企画、実施 b) 教育研修事業の改善・検討 (研修毎のアンケート調査をもとに) c) クリニカルラダーレベル研修の充実	・保健師職能委員会
②職能委員会企画の研修(県委託含む)	a) 保健師研修会：実践力を高める研修（助産師職能と合同研修）★ b) 助産師研修会：クリニカルラダーⅢ認証制度の推進（地区での研修含む） c) 看護師Ⅱ研修会：こころの健康づくりメンタルヘルス等研修 d) 介護・福祉施設等で働く看護師研修会：他職種連携、看取り★ e) 准看護師研修会：コミュニケーションスキルアップ★	・助産師職能委員会 ・地区長 ・看護師職能委員会 I ・看護師職能委員会 II ・看護師職能委員会 I
③県受託・補助研修	a) 実習指導者講習会 b) 高齢者権利擁護等推進事業における看護職員研修 c) 訪問看護研修（入門・養成・管理者） (訪問看護 e ラーニング受講修了者の受入) d) 看護教育の質の向上研修研修 e) 就業相談員育成研修 f) 特定分野における実習指導者講習会 ★(重複)	
2) 地区研修の推進	a) 会員・非会員への研修支援	・地区長

項目	内 容	関係委員会等
3) 地区研修の充実	a) 地区での研修の企画・実施 b) 地区内でのブロック別研修の実施 a) 認定看護師の交流会 b) 認定看護管理者の支援・活用	
4) 認定看護師の活用・支援		
3 認定看護管理者教育		
1) ファーストレベル教育事業	a) ファーストレベル教育企画・運営 b) ファーストレベル修了生支援	・認定看護管理者教育運営委員会
2) セカンドレベル教育事業	a) セカンドレベル教育企画・運営 b) セカンドレベルフォローアップ研修 c) サードレベル教育の受講促進	
4 保健看護研究学会に関する事業	a) 鹿児島県保健看護研究学会の開催 b) 看護研究の質向上への取り組み c) 日本看護学会の開催案内	・学会委員会 ・教育委員会 ・業務執行理事

2. 看護職の労働環境の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業

項目	内 容	関係委員会等
1 働き続けられる職場づくり		
1) 「ワーク・ライフ・バランス」の推進	a) ワーク・ライフ・バランス(WLB)フォローアップ研修会開催 WLB推進評価委員会による体制づくり b) かえるプロジェクトの推進 c) 地区との共催事業：ノー残業day実施 d) WLB取組施設訪問 ★ a) 労働局企画委員会への参画 b) 関係者への労務管理研修 c) 働きやすい組織風土作り d) 労働と看護の質データベース事業(DINQL)の推進★ a) 介護施設及び在宅等で働く看護職員研修 看取り・認知症研修 ★	・ナースセンター ・社会経済福祉委員会 ・3職能委員会
2) 病院・施設責任者への働きかけ		・社会経済福祉委員会 ・業務執行理事
重点2		・地区長
3) 介護領域における看護機能の充実	重点1	・看護師職能委員会Ⅱ
4) 看護職の卒後臨床研修制度の推進(県委託)		
	a) プロジェクトチームによる研修実施 ・各施設へ：研修体制の整備への支援 ・関係機関団体との連携 ・地区事業との連携 ・2地区で多施設合同研修実施(姶良伊佐、大隅) ・新人助産師合同研修会	・新人研修プロジェクトチーム ・地区長 ・助産師職能委員会
5) 看護職のリフレッシュ		・地区長 ・業務執行理事 ・教育委員会
重点4		
2 看護職確保対策の推進(県委託)		
1) 再就業相談事業	a) 看護師等無料職業相談、紹介 b) 看護職員需要施設実態調査 c) 地区のハローワークでの就業相談	・ナースセンター
2) 潜在看護師等就業支援	a) 離職看護師の届出制度の活用 b) 再就業支援セミナー開催 ・注射・採血に特化した技術研修 c) セカンドキャリア支援	・ナースセンター ・地区長
3) ナースセンターの強化・利用促進		
① 第5次NCCSの広報・活用	重点3	
	a) 看護学校・養成所訪問 b) ハローワークかごしまでの相談 c) ナースセンター便りの充実 d) 中・高校の進路指導教員との連携 e) 職業紹介に関する関係機関との連絡調整 f) ナースセンター運営協議会の充実 ★ a) 助産師地域偏在の改善と助産師実践能力の強化 b) クリニカルラダーレベルⅢ認証制度の推進	・ナースセンター
4) 助産師出向及び研修支援事業		・業務執行理事
5) 小・中・高校生への支援	a) 進路支援(看護への道)出前授業 b) 性教育・命の授業等の実施 c) 性教育に関する指導者育成・レベルアップ研修会 ★	・ナースセンター ・性教育推進事業支援会 ・地区長

3. 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事業

項目	内 容	関係委員会等
1 看護業務に関する看護の質の保証の推進		
1) 特定行為に係る研修制度の推進	重点3	・業務執行理事

3. 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事業

項目	内 容	関係委員会等
2) 看護業務に関する検討	b) 関係機関との連携 ★ a) 他職種との役割分担・連携について b) 地区における研究・発表 c) 看護工夫展の開催	・教育委員会 ・社会経済福祉委員会 ・保健師職能委員会 ・助産師職能委員会 ・看護師職能委員会I ・看護師職能委員会II ・地区長
3) 看護職の出向研修の検討	重点3 a) 病院と訪問看護ステーション・介護施設の相互研修 ★	
2 職能委員会活動	重点3 1) 保健師のキャリアパスの構築 2) 助産師ラダーの推進 3) 看護師ラダーの推進	a) 職能独自の問題の検討・提言 労働環境、業務整理、3職能の役割拡大等 新人研修、基礎教育のあり方検討 b) 地区との連携強化
3 実態把握		a) 国及び日看協の統計等の情報収集・分析 b) 看護部長等のメーリングリストの活用 c) 各地区への訪問
4 県等への要望活動		a) 予算要望書の提出

4. 地域ケアサービスの実施及び促進等による県民の健康及び福祉の増進に関する事業

項目	内 容	関係委員会等
1 県民の健康づくり推進に関する事業 重点1 1) 生活習慣病予防事業及び介護予防事業対策への取り組み ・CKD予防 ・認知症予防 ・たばこ対策の推進と普及	a) 関係機関の連携会議等への参加・協働 体育の日健康づくりイベント参加 b) 健康相談、計測等 c) 「まちの保健室」の開催（地区事業含む） d) 他団体との連携 e) 広報活動	・保健師職能委員会 ・助産師職能委員会 ・看護師職能委員会 ・ナースセンター ・看護の日委員会 ・各地区長
2) 子供・高齢者虐待予防対策への取り組み	a) 関係機関・関係団体との連携及び関係会議等への出席 b) 施設従事者の研修等	・事業担当者 ・保健師職能委員会 ・助産師職能委員会
3) 生涯を通じた女性の健康支援	a) 関係機関・関係団体との連携及び関係会議等への出席	・看護師職能委員会
4) がん対策支援	a) 関係機関団体との連携・委員の推薦 b) 普及啓発運動 c) 研修会の開催 d) イベント活動への参加：ピンクリボン月間「つながる想い in かごしま」への協力	・保健師職能委員会 ・助産師職能委員会 ・看護師職能委員会 ・パワフルage委員会 ・業務執行理事
5) 感染症対策支援	a) 関係機関団体との連携 b) 新型インフルエンザ計画の見直し	・業務執行理事
6) 医療・看護安全に関する支援	a) 関係機関団体との連携 b) 看護110番相談の実施	・業務執行理事
7) 地域医療連携計画・地域医療構想への参加	c) 医療事故調査制度に係る相談支援 ★ a) 行政（県・市）の会議参加 b) 関係機関との連携	・保健師職能委員会 ・事業担当者 ・地区長
8) 難病・障害者支援	a) 関係機関との連携・会議等への出席 b) 障害程度区分認定審査会委員の推薦	・保健師職能委員会 ・業務執行理事
9) 自殺対策	a) ゲートキーパー養成・ステップアップ講習 b) 自殺予防街頭キャンペーン参加	・地区長
2 次世代育成支援 1) 次世代育成支援事業の推進	a) 思春期対策への取り組み ・性教育授業の組織化・推進 b) 子育て支援 c) 啓発活動推進 d) 関係機関との連携	・助産師職能委員会 ・性教育推進事業支援会
3 地域保健活動の推進 1) 地域ニーズに応じた保健活動	a) 保健活動の充実、スキルアップ b) 従事者間のネットワークの強化 九州ブロック会議、保健師長会など c) 保健師活動指針の活用 d) 統括保健師育成研修 ★	・保健師職能委員会

項目	内 容	関係委員会等
4 介護保険制度の適切な運用の推進 1) 介護保険事業の推進 5 医療介護の連携 6 地域包括ケアシステムの構築	a) 関係機関団体との連携・協力 b) 介護認定審査委員の推薦 a) 他職種連携研修等への参加 b) 看護職連携推進事業 ★ a) 看護職の視点からの情報発信 b) 関係機関団体との連携 c) 市町村の地域包括ケアシステム構築への参画 d) 地域での介護予防・重症化予防対策への取組 ★	・業務執行理事 ・地区長
7 訪問看護事業 1) 訪問看護相談支援事業 ① 訪問看護に関わる総合相談の対応・体制整備 ② 訪問看護に関わる情報収集 ③ 訪問看護の質の向上 2) 「訪問看護ステーション」に関する事業 ① 事業の適正運営・ICT化 ② 経営基盤の強化 ③ 広報活動 (地域住民、会員、会員外への事業紹介) ④ ネットワークづくり 3) 居宅介護支援事業所に関する事業 ① 居宅介護支援事業所の適正運営 ② 関係機関・関係団体との連携協力	a) 訪問看護相談支援センターの充実 b) 訪問看護相談支援ホームページの充実 c) 訪問看護師研修支援 d) 診療報酬改正などの情報発信・相談 e) 地区での訪問看護研修支援 a) PR活動の強化、新規利用者の獲得 b) 訪問看護の質・技術の向上・ICT化 c) 関係機関・関係団体との連携・協力 d) 看護師・看護学生・医学生の実習受け入れ e) 地域のニーズの把握 a) PR活動の強化、新規利用者の獲得 b) 介護保険制度改革に関する情報収集 c) ケアマネジャーの質・技術向上	・訪問看護ステーション ・訪問看護ステーション
8 医療看護安全に関する事業 1) 医療・看護安全対策に関する情報収集 2) 医療安全管理者養成研修 3) 関連機関団体との連携促進 9 災害時における活動体制の推進事業 1) 活動体制等の整備 2) 災害看護に関する研修の企画実施 3) 災害訓練 4) 救護活動	a) 地域における取り組みに関する情報収集と支援 ・医療安全ネットワーク病院連絡会の開催 b) 日本看護協会関係会議への参加 a) 医療安全管理者の養成と質の向上 (e-learningの導入・他職種の研修受け入れ) b) フォローアップ研修（他職種の研修受け入れ） a) 医療事故調査制度支援団体等連絡協議会への参画★ a) 災害対応マニュアルの改正 b) 災害支援ナース登録の推進(特に、離島) c) 支援活動に必要な物品の整備 a) 災害支援ナースのレベルアップ研修 b) 関係機関との連携 a) 日本看護協会・鹿児島県・鹿児島市等との 合同防災訓練への参加 b) 会員・災害支援ナースの周知 a) 地区におけるイベント時の救護 b) 災害支援、ネットワークづくり c) 県との災害協定後の支援計画の検討	・地区ネットワーク病院 ・医療・看護安全対策委員会 ・医療・看護安全対策委員会 ・業務執行理事

5. 日本看護協会との相互協力及び連携に関する事業

6. その他本会の目的を達成するために必要な事業

項目	内 容	関係委員会等
1 組織強化・拡大 1) 協会組織の強化 ① 入会促進 ② 地区との連携強化 ③ 施設代表者会議 ④ 看護師等養成校との連携	重点4 a) 各事業・研修を通してのPR活動 b) 看護協会ホームページ・広報紙の充実 c) 県医師会との連携 d) 地区長情報交換 e) 看護学校行事（入学式への祝電・戴帽式・卒業式等） への出席、教育協議会への参加 f) 平成28年度入会率40%目標を目指す 表 地区毎の数値目標	・業務執行理事 ・会員管理担当者 ・業務執行理事 ・地区長 ・業務執行理事 ・地区 ・各委員会

地区名	策定期の会員数 (H24.7.5)	平成27年度末 会員数	平成28年度末 目標
鹿児島	5,341	5,873	5,950
南薩	791	801	850
川薩	644	716	764
出水	510	492	510
姶良伊佐	1,337	1,501	1,599
大隅	1,562	1,604	1,670
大島	672	749	800
計	10,857	11,736	12,143

項目	内 容	関係委員会等
2) 新会員情報管理システムへの対応	a) 会員への広報強化 ★	・業務執行理事 ・地区長
3) 円滑な組織運営 ① 公益社団法人としての整備	a) 公益移行後の組織整備 臨時職員等の就業規定の見直し b) 顧問弁護士の活用	・規約委員会 ・事務局
② 県看護協会会議の定期開催	a) 事業目的達成に向けて各会議・委員会の連携・強化 ・通常総会 ・職能別集会 ・理事会 ・運営委員会 ・職能委員会、 ・常任・特別委員会 ・事業検討会 ・研究倫理委員会 ・県看護連盟との協議 ・地区集会 ・評議委員会	
③ 地区関係会議	a) 日本看護協会との連携を密にし、重点事業の目的達成を図る ・日本看護協会通常総会・職能別集会 ・法人会員会・職能委員長会 ・地区別法人会・都道府県職能委員長会 ・担当者会議	・地区長 ・担当委員
④ 日本看護協会関係会議への参加		・職能委員長
⑤ 役職員の資質向上のための研修・学会参加		
⑥ 会員情報登録管理	a) 新会員情報管理システム変更への準備 b) 会員情報管理の効率化 c) 会員情報管理の精度向上	・会員管理担当者
⑦ 館内外情報管理	a) 館内ランのセキュリティ対策	・事務局
⑧ 災害時の対応	b) 外部情報のセキュリティ対策	
2 広報活動	a) 火災・地震等発生時の研修生避難の検討、訓練	・事務局
1) 地域住民、看護職及び会員への情報提供活動 ① 広報紙の発行 ② ホームページの定期的改善 ③ 本会事業関連冊子の作成と普及	a) 「看護かごしま」の充実 b) 新コーナーの検討 c) ホームページ・看護かごしまへの各委員会活動等の掲載の徹底 d) 女性団体連絡協議会との連携	・広報委員会 ・地区長 ・職能・常任・特別委員会
2) 社会への広報強化 ① 関係機関・団体を通じた広報活動	a) 社会・マスコミへ向けた活動	・事務局
3) 「看護の日・看護週間」行事による「看護の心」の普及促進 ① 記念式典及びイベントの開催 ② 1日まちの保健室 ③ 「ふれあい看護体験」 ④ 「出前授業」 ⑤ 「看護への道」進路相談	a) 県民への広報 鹿児島県・市、県・市医師会等との連携 b) 中学生・高校生のふれあい看護体験の募集・実施、施設への呼びかけ c) 報告書の作成と配布	・看護の日・週間行事実行委員会 ・ナースセンター ・地区長
3 会員支援に関する事業 1) 看護職賠償責任保険制度加入促進	a) 研修会時の広報	・業務執行理事 ・医療看護安全対策委員会
2) 会員の福利厚生	a) 各種表彰制度への会員の推薦 b) 慶弔・災害見舞制度の運用 c) 災害支援ナース傷害保障保険加入 d) 役員・委員の傷害保険加入 e) テーマパークの入場料助成等 f) 研修ポイント制の広報及び利用促進	・業務執行理事 ・事務局
4 施設管理に関する事項 1) 鹿児島県看護研修会館の管理 ① 建物設備の管理・運営	a) 定期的保守修繕 b) 会館耐久性などの検討	・事務局
2) 図書室管理・運営 ① 図書・文献等の充実 ② 文献検索体制の整備	a) ホームページでの図書検索 b) 雑誌、ビデオ、DVDなどの整理 c) 教育環境の整備（インターネット導入等）	・事務局

職場紹介

医療法人青仁会 池田病院

医療法人青仁会池田病院
看護部長（認定看護管理者）
前野かつ子

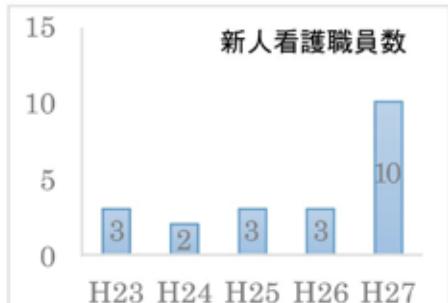
施設の概要と理念

大隅半島のほぼ中央に位置する鹿屋市。昭和32年にこの地で開院し、昭和47年に医療法人青仁会池田病院が設立されました。開院当初は高齢者医療と透析医療を中心でしたが、現在は内科疾患のみならず、脳神経外科や乳腺外科、整形外科等の外科疾患にも対応できるようになっています。また、継続的なケアサービスの提供を目指し、病院だけでなく、老健、特養、訪問看護ステーション、グループホーム、ケアコールセンター（24時間定期巡回・随時対応）等の多岐にわたる施設を同敷地内に有しています。病院は医療を行う所、介護施設は生活をする所といったすみわけを行いながら、池田グループとしてそれぞれの機能が発揮できるように連携を行っています。全職員が「私たちは笑顔と真心で最良の医療サービスをお届けします」という理念を達成するために「接遇と連携」を重視しています。

看護部の取り組み

1、実習生への対応

「新人看護職員の就職先決定に影響を及ぼす要因」の調査の結果、「実習時の対応・環境の充実」が上位にきていました。そこで、人々が学生の看護師モデルとなることを目指しました。実習生からは「自分たちを名前で呼んでくれた。質問しても一緒に考えてくれた。実習にくるのがとても楽しみだった」と評価されるようになりました。そ



の結果、新人看護師の就職もかなり増えています。

(表1)

平成28年1月19日には韓国中央大学校の看護学生6名を引き受けました。地方にい



てもグローバル化から取り残されないことに実感しています。韓国語講座を開いたり、ブルコギと一緒に食べたりと楽しい体験でした。

2、WLBへの取り組み

働きやすい環境づくりを目指して、有給の取得（H25年度88%）や超過勤務の削減（2.5時間／月）等に取り組んできましたが、職場満足度調査で不活性型組織と診断されました。そこで、平成26年度から日本看護協会WLB推進事業に参加し、「チーム医療の推進」と「働き甲斐のある職場作り」に取り組んでいます。合同カンファレンスや他職種との業務の協働化で、チーム医療に対する評価が高まりました。業務は煩雑化し多忙ですが、「今の



職場に働き続けたい」と回答した人が65%と前年の倍近くなっています。看護職は忙しいのが不満ではない、やりがいを求めていることがわかりました。

今後の課題

大隅地区はどの地区よりも高齢化が進み、地域包括ケアシステムの構築は喫緊の課題ですが、具体的なゴールはなかなか見えてきません。さらに、医療資源は枯渇することも予想されています。それでも、医療と介護を通じて地域に貢献することをモットーとしている以上、地域住民のために何ができるのか、何をしなければならないか、何が求められているのかを見極められるよう全職員で知恵を出し合いたいと思います。

近くにお越しの際は、是非お越し下さい。



Hospital Information

許可病床数	189床
一般病床	91床
回復期病床	34床
療養病床	64床
血液浄化センター	104床

めざせ!認定看護師



活動内容

鹿児島赤十字病院4階病棟看護係長
皮膚・排泄ケア認定看護師
池田 聰子

皮膚・排泄ケア認定看護師として活動して5年目となりました。日頃は創傷ケアを中心で活動しています。当院はリウマチ膠原病センターを標榜しており、鹿児島市内はもちろん水俣市など遠方から患者さんが受診されます。関節リウマチを中心とした膠原病はステロイド製剤、免疫抑制剤を使用する頻度、投与量も多く、それに起因する皮膚の脆弱さによるスキントラブル、また血管炎に起因する悪性関節リウマチや全身性強皮症の難治性皮膚潰瘍など少なからず創傷に関する困りごとを抱えています。また、このような患者さんは一旦創を作ってしまうと治癒困難になるケースが珍しくありません。



私が認定看護を目指したのも、このような膠原病に起因する難治性潰瘍を何とかしたいという想いからでした。当院には皮膚科、形成外科がなく、認定看護師となった当初は自分のアセスメントが正しいのか、治療はこの方法で間違っていないのか相談できず、創が治癒遅延を起こしたり、悪化する事例に対しなかなか主治医に提言出来なかったり、看護師などに積極的に指導出来ない事がありました。しかし、失敗ではなく治癒困難事例を経験していると前向きに捉え、治すことばかりではなく、何が治癒困難の要因であるか、この患者の場合はどこに目標を据えればよいかと考えられるようになりました。また、創ばかり見ていると患者の全体像を見失いがちになりますが、私達はあくまでも看護師であり、創痛や不安、生活の中での予防策等患者さんに寄り添ったケアが出来るように心がけています。

日頃は病棟に所属しており、WOCとしての活動時間を1カ月に1日半確保しています。内容は各病棟の褥瘡診療計画書の中で看護計画が挙がった患者さんのポジショニングやマットの使用状況、スキントラブルの有無、栄養管理状況の把握など多岐にわたります。また、相談があった患者さんのその後の状況なども定期的に報告を受け、評価しています。活動時間以外にも相談の依頼を受ける事が多く、業務の合間を見ながらタイムリーに見るよう努めています。



今後の目標としては、創傷ケアを予防も含めて質を上げる事と人材育成です。看護師がベッドサイドでアセスメントできるように、相談の依頼については看護師が問題点を引き出せるような用紙の工夫と、チームの中で情報を共有し他職種で取り組めるような環境作りを行っていきたいと思います。

認定看護師紹介



活動内容

鹿児島赤十字病院
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師
山下 美和

脳卒中は、我が国の死因の第4位ですが、寝たきりや要介護状態の原因になる疾患としては第1位です。さらに高齢者人口や生活習慣病の増加に伴い、脳卒中患者は2020年頃までは増加すると予測されています。そのために必然的に派生する脳卒中後遺症に対しての社会復帰訓練や介護の問題は我が国の重要な社会的課題の1つです。このような医療環境や社会的必然性から、2010年7月に脳卒中リハビリテーション看護認定看護師が誕生しました。

私は、ルchin業務や緊急入院の受け入れ等に追われ経験知で看護を行いながら、脳卒中患者の看護を知りたい、もっと看護師の力で安全に離床を促して寝たきり患者を減らしたいという気持ちから、脳卒中リハビリテーション看護認定看護師の資格を取得しました。脳卒中は、急性期は「疾病」回復期は「障害」維持期は「生活」と、病期によって対象が変化します。脳卒中地域連携では、「治療の継続」と「リハビリテーションの維持」が必要ですが「看護の継続」はその両者の中に包含されています。離床は脳卒中看護の基本ですが離床を通じて、患者の廃用症候群予防を行う意味と患者が起きることで家族に与える影響があると感じています。脳卒中患者は意識障害、運動障害、高次脳機能障害など複数の障害を持ち、また合併症や栄養障害により体力、筋力低下がある中で障害を受容し治療やリハビリテーションを頑張っておられます。そのご家族も一緒に闘っていらっしゃいます。その状況下で患者が能動的に何かしようとしているのを見たり、寝たきりの患者が座位になって開眼している様子を見ることで励ましになり、家族のケアへの参加に繋げられます。安全に離床を促したいという気持ちから資格を取得し、多様な角度から離床を見るができるようになり「患者の身体機能維持・向上」「家族の不安軽減と介護実践力向上」に繋がることを実感しています。現場では、離床とスライディングシートを使ってポジショニングの指導を行いながら、病棟スタッフとして患者ケアを行っています。

脳卒中を発症された患者へ、パンフレットを使用し再発予防の指導も行っています。今後は、離床の実践と再発予防の患者指導が定着するように、スタッフ全員で成長していくように努力していきたいと思います。





平成 27 年度実習指導者講習会を受講して

公益財団法人慈愛会 谷山病院 郡田かおり

昨年 11/24 ~ 2/2 の 40 日間、平成 27 年度実習指導者講習会を受講しました。今回鹿児島県内より 54 名が受講し、全員が無事に閉講式を迎えた証をいただく事ができました。

まず医療・看護の動向で今後の世の中の医療や看護の動き、将来に向けて学生を育てる必要性を学び、各教育課程では学生が学校で学んでいる講義内容を学びました。1日 6 時間の講義と学習カード作成は慣れるまでが大変でしたが、久しぶりに学生に戻ったような気持ちでとても新鮮でした。次に教育原理・方法・心理・評価で大学講師の専門的な講義を受け、実習指導の原理・評価で実習指導の必要性や実習での学生への関わり方、教員との連携の大切さ、学生の特徴を学びました。これらの講義で学んだ事を踏まえ、年明けより各科目ごとにグループで実習指導案作成を行いました。始めは何から行ったら良いのか分からず、期限内に指導案を作成する事ができるのだろうかと不安な気持ちでいっぱいでしたが、支援者の先生の温かい助言や指導で方向性を導いて頂いたり、グループの仲間と活発に意見を出し合いお互いの意見を尊重し合いながら指導案作成を行ってきました。特に苦労したのは実習の日程作成でした。学生にどの場面を設定し、どんな事を指導し伝えたいのかを何度も話し合い、迷う度に教材観・学生観・指導観を見直し作成していました。発表はとても緊張ましたが、グループ全員で共に協力しながら指導案作成を行う事ができたという達成感と喜びで終える事ができました。

今回の実習指導者講習会で、学生にとって実習は授業であり、その授業に指導者として関わる事の重要性や責任感を感じました。同時に教員と連携を取りながら未来の後輩となる学生を育てていく事に胸を膨らませています。学生が実習しやすい雰囲気作りを病棟全体で行えるように働きかけていく事、学生に看護の楽しさを少しでも経験してもらえるように関わっていく事が今後の私の課題です。

最後になりましたが、長期間の講習会を受講させて下さった職場の上司や不在中に現場のフォローをして下さった病棟スタッフ、実習指導者講習会担当の先生方、講師の方々に深く感謝致します。ありがとうございました。



鹿児島県看護協会のロゴマークの募集について

県民の方や関係団体の方々に親しみと連携を推進するため、このたび、本会のシンボルとしてロゴマークを公募することになりました。

詳細は当協会ホームページをご確認ください。

- 1) 募集期間：平成 28 年 3 月 21 日～4 月 28 日
- 2) 応募対象者：不問
- 3) 応募方法：A4 サイズ用紙にロゴマークを記載し、文書及び電子媒体で申込書（ホームページ掲載）を添えて県看護協会まで送る。
 - 郵便での送り先住所：〒890-0064 鹿児島市鴨池新町 21-5
鹿児島県看護協会 ロゴマーク担当あて
 - メールでの送信先：kakankyo@orange.ocn.ne.jp
- 4) 応募作品：未発表作品で一人一点とし、原則応募作品は返却しない。
表彰
 - 1) 採用ロゴマーク製作者へ表彰状及び賞金を贈呈する。
賞金 3 万円（児童・生徒の場合は図書券）
 - 2) 5 月中に贈呈する。



性教育推進事業支援委員会 性教育研修会報告

日 時：平成 28 年 2 月 27 日（土） 13:00 ~ 16:30

場 所：鹿児島県看護協会 視聴覚室（2F）

参加者：県内の保健師・助産師・看護師・検査技師 35 名

講 演：「男子思春期における性教育」 内田 洋介先生

（今村病院泌尿器科部長）

思春期男子にむけての性教育について男性であり、医師である立場で講演してくださいました。また、近年の課題である性の多様化やネットリテラシーなど多岐にわたった講演となりました。



県内（西之表・出水・川内・鹿屋・加世田・日置・姶良・市内）の保健所や病院、学校関係者が多く参加してくださいました。日ごろ悩んでいることやそれぞれの職種で工夫していることなどを情報共有できました。

また検査技師であり男性の立場で性教育してくださっている川上さんのお話にみなさん感銘を受けていました。

【参加者の声】

- ・男性の立場での性教育は、とても新鮮でした。出来るなら講演資料があればよかったです。
- ・高校生等では、すでに中絶の経験がある生徒もいる可能性も配慮しながら話す必要があることなど、これまでとは違う視点で考えるきっかけをいただいたと思います。
- ・男子生徒に対する性教育に特化した話を聞いたのは初めてで、とても勉強になりました。性の多様性への配慮やメディアリテラシーなどの課題についても盛り込んで性教育をしないと、と思った。
- ・男性の“性”について母親からよく相談されるので、今日の内田先生の講演はとても勉強になりました。性教育について具体的な話を聞くことがあまりないので、とても勉強になりました。
- ・今後、性教育に携わる多くの職種の方々と意見交換し、考えていくことが出来たらいいと思う。
- ・このような講演会にまた参加したいと思いました。



【委員会より】

平成 28 年度計画として、性教育に携わる多くの職種の方々との研修会・講演会を企画しています。

是非ご参加ください。お待ちしております。



災害看護検討委員会

桜島火山爆発総合防災訓練に参加して

1 月 12 日（火）、桜島火山爆発総合防災訓練に災害支援ナース 30 名、災害看護検討委員会委員 7 名と専務理事の計 38 名が参加しました。



訓練想定としましては、避難にともない、避難者の疲労・ストレスが高まっていることから、県看護協会、市保健所が災害支援ナースや保健師を避難所に派遣し、避難所の健康相談を実施するということでした。

例年通り朝 9 時に、県看護研修会館に集合（一部現地集合）し、必要物品を確認・準備し避難所である桜島補助体育館へ向かいました。しかし、予想外にフェリーに乗船するまでに時間がかかってしまい、オリエンテーションもそこで訓練開始となってしまいました。

訓練は、住民の方と外国人観光客の方の健康相談・ブース見学と 3 グループに分かれて、実施しました。今回初めて外国人用の問診票・情報収集シートを各国別に、また見ただけで症状が分かる絵カードを市国際交流財団の方が作成して下さり、活用することができたのですが、十分な説明ができなかったために、課題を多く見いだす結果となりました。

何事もまずは第一歩からということで、今回の貴重な経験を活かし、課題を改善し、次年度へつなげていきたいと思っております。

いつ桜島火山の大爆発が起こるか分からない昨今、日頃からの備えや情報収集・訓練が大事だということを改めて実感する訓練となりました。

Heart 訪問看護研修検討委員会

① 検討委員会の役割

いきいきと働く訪問看護師の育成を目指して

② 内容について

訪問看護師の仕事は、地域で暮らす病気や障がいをもった人々と一緒に悩み・考え、よりよい人生がおくれるよう看護職としてサポートしていくことです。地域包括ケアシステム構築や在宅医療へのニーズの高まりなどによって、その担うべき役割は益々重要になってきています。しかしながら、訪問看護ステーションは小規模事業所が多数なため、各事業所で教育システムを確立することが困難だと言われています。

そのような現状のなか、当委員会は訪問看護研修を企画・運営・評価するために平成27年度に新しく特別委員会として発足しました。

平成28年度は、入門研修・育成研修・管理者研修の3コースを実施します。募集期間は4月4日～5月2日までです。訪問看護に興味がある方から管理者の方まで、それぞれの目的にあったコースをご準備しましたので、ぜひご参加ください。(詳しくは教育計画冊子をご参照ください)

また、今後はeラーニングやオンデマンド研修を活用し、地理的に研修参加が難しい方も、教育が受けられる体制を作つて行く予定です。

Heart 第49回鹿児島保健看護研究学会報告

平成28年1月22日(金)に鹿児島県看護研修会館において、第49回鹿児島県保健看護研究学会が開催されました。参加者は総勢176名(会員159名、非会員17名)と昨年を上回る参加を頂きました。当日は、午前から午後にかけ13題の研究発表がなされ、発表後も会場から質問を頂き活発な質疑応答がなされました。発表された研究は、看護実践から家族の方々の思いに関するものまで多岐にわたりましたが、発表された方々が真摯に看護に取り組んでいらっしゃる姿を感じることができました。研究発表終了後は、鹿児島大学医学部保健学科講師 児玉慎平先生に「質の高い看護研究をめざしてー研究計画と概念枠組みー」と題してご講演頂きました。児玉先生には午前中から研究発表を聴いていただき、発表内容も踏まえながら研究の概念枠組みについてお話くださいました。聴講された方々からは、とても分かりやすかった、研究に対する苦手意識が変わったなどの感想を頂きました。本年度の学会も盛会のうちに終えることができましたことを感謝申し上げます。

28年度は、平成29年1月20日(金)に当学会の開催を予定しております。多くの方々に研究発表と学会参加を頂ければと思っております。どうぞよろしくお願ひ致します。

(学会委員会委員長 井上 尚美)



Heart 「平成27年度 鹿児島県看護協会会員施設代表者説明会」報告

平成28年2月25日(木)に、「平成27年度鹿児島県看護協会会員施設代表者説明会」を行いました。施設代表者会を定期的に開催している県もありますが、鹿児島県では初めての試みでした。

内容としては、平成29年度から看護協会入会受付が新しくなることの説明が主で、他にはナースセンターの「看護職の離職届出制度」についてや、専務理事からの「看護師の特定行為研修制度」について等、盛りだくさんの内容となりました。

参加者は、各施設の管理職等54名でしたが、質問も活発にいただき、初めての説明会は無事終了いたしました。



平成 28 年度 看護の日記念事業のご案内

<「看護の日」記念式典>

日時：平成 28 年 5 月 12 日（木） 13:00 ~ 16:00

会場：公益社団法人 鹿児島県医師会館 4 階大ホール

内容：①ミニコンサート 唄：藤 明美氏

ピアノ：伊地知元子氏

②看護業務功労者県知事表彰

③看護業務功労者県知事表彰者の看護体験談

④講演 「社会に求められる看護の意義～訪問看護の大切な意味～」

講師：鹿児島こども訪問看護ステーション 渡邊 理恵 先生

「看取りの看護の経験から見えてくるもの」

講師：十島村役場住民課 今田 フサ子 先生



昨年度の様子

<「看護の日」まちの保健室>

日時：平成 28 年 5 月 28 日（土） 10:00 ~ 16:30

会場：イオン鹿児島鴨池店（旧ダイエー鹿児島店）

（鹿児島市鴨池 2-26-30）



昨年度の様子

* 内容：測定コーナー／血管年齢、骨密度、血圧

* 相談コーナー／健康、お薬、煙草、介護、「看護への道」進路・乳癌予防について

* 体験コーナー／認知症予防体操、一次救命処置の実演・体験（BLS）、妊婦疑似体験、
ブチナース体験



お知らせ

3月末にお届けした「平成 28 年度教育研修計画冊子」内容に以下の修正があります

掲載ページ	研修番号	研修項目	修 正箇 所	
			修正前	修正後
12	40	【受託】 保健師研修会： 多職種がしきける地域づくりを 学ぶ	内容：講演・パネルディスカッション	内容：個人を見て、地域を見る／保健 師としての PDCA サイクルを考える
			開催日：6.24（金）	開催日：10.7（金）
54	42	保健師研修会： キャリア形成に ついて考える	申込期間：5.1～15	申込期間：9.1～15
			講師：①鎌田（佐賀県）②堀之内（垂水市） ③永山（ten-labo）④坂上（肝属郡医師会）	講師：前福岡県保健医療介護部医療指導 課医師・看護職員確保対策室 鎌田久美
20	別紙 13 (研修番号 64)	ハローワーク看護 職員就業相談員育 成研修プログラム	項目名：保健師研修 開催日：10.7（金）or10.28（金） 申込期間：9.1～15 講師：①清田（北九州市）②県看護係 ③町岡（鹿児島市）	項目名：保健師研修会～キャリア形成について～ 開催日：6.24（金） 申込期間：5.1～15 講師：北九州市保健福祉局地域支援部 地域包括ケア推進担当課 清田啓子
			研修場所②鹿児島市立病院見学実習 研修内容の表：施設見学 未定	研修場所②鹿児島大学医学部・歯学部付属病院 研修内容の表：施設見学 鹿児島大学 医学部・歯学部付属病院
20	地区研修 計画一覧	川薩地区	第 1 回教育計画：地区集会後研修会 講師：交渉中	第 1 回教育計画：地区集会後研修会 講師：三遊亭歌之介
			【新】「看護職連携構築モデル事業」交 流会＆研修会 2 回程度	【新】「看護職連携構築モデル事業」研修会 月日：平成 28 年 11 月 5 日 講師：在宅ケア移行支援研究所 宇都宮宏子

期間限定

公益社団法人 鹿児島県看護協会 主催事業

期間中(2016年8月1日月~8月31日水)に限り

サンリオキャラクターパーク ハーモニーランド

入園+アトラクション利用のパスポートチケット(通常1名2,900円)が無料!

無料ご招待

[会員とそのご家族様 対象]

※一部アトラクションは別料金となります。

★印が
イルミネーション開催日

《営業時間》(予定)

9:00~17:00

9:00~19:00

9:00~22:00

※入園は閉園の1時間前まで。

※営業時間は実際にホームページ等でご確認ください。

2016年 8月の営業時間

Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

イベント情報など詳しくはHPで!

ハーモニーランド

[会員]

TEL 0977-73-1111

Hello
Harmonyland

大分県速見郡日出町大字蘿原5933番地

アクセスMAP



日出I.Cから約2分! (国道10号線沿)

0770-88-91-93-98-101-08-12-18 SANRIO

ご利用方法

下記利用申請書に必要事項をご記入の上、必ず「鹿児島県看護協会会員証」と一緒にハーモニーランドチケット売場に提示してください。

入園とアトラクション利用のパスポートチケットをお渡しいたします。

※「利用申請書」のみの提示、または「会員証」のみの提示では本企画をご利用できません。
必ず、「利用申請書」「会員証」の2つと一緒に提示してください。

△切り取り

鹿児島県看護協会 会員専用 ハーモニーランド 利用申請書
(会員代表者を含む7名様まで)

[対象期間] 2016年8月1日(月)~2016年8月31日(水)

P317

会員番号

氏名

利用申請者
(4歳以上の方)※お連れの方は無料
となりますので記入不要
です。
●会員登録は
会員登録のみ
記入

氏名

氏名

利用申請者
(4歳以上の方)

氏名

氏名

ご利用日

月

日

ご利用者合計数(4歳以上)

名様

お買物・お食事でもお得な特典が! 園内で使えるお得なサービス券を、ご来園時にプレゼント!

地区だより

出水地区

新人看護職員研修(多施設合同研修事業)

出水地区における新人看護職員が生き生きと働き続けられるために、基本的臨床実践能力を獲得するための研修を実施し、看護の質の向上や新人同士のネットワークの構築を図ることを目的に活動をしました。新人職員は、5回の地区教育研修会に参加し、研修後に情報交換会を開催しました。

●第1回 日 時：平成 27 年 6 月 20 日（土） 参加者：96 名（うち新人職員：26 名）

講 演：「認知症のことをどのくらい知っていますか」

講 師：荘記念病院 認知症疾患医療センター長 西脇 知永先生

新人職員の情報交換会では、「参加者から情報を入手できた」100%、「参加者に情報提供ができた」96%と情報交換が円滑に行われていたことが伺えた。情報交換会の必要性については73%が必要という回答であった。意見・感想では、前向きな姿勢の意見が多くあり、効果的な研修会であった。



●第2回 日 時：平成 27 年 7 月 11 日（土）

参加者：74 名（内新人職員：31 名）

講 演：「ナラティブを生かした医療安全活動」

講 師：枕崎市立病院 看護部長：中村 育美先生

アンケートでは、「ナラティブの意味を初めて知った。」「自分の経験を先輩に話す機会はあまりない。でも、これからは自分の経験を思い切って話してみようというきっかけになった。」「看護体験が自分たちを成長させてくれると思った。」など多くの感想が新人職員から聞かれた。

●第3回 日 時：平成 27 年 9 月 12 日（土）

新人参加者：31 名

講 演：「ストレスマネジメント」

講 師：出水郡医師会広域医療センター 永石 尋幹臨床心理士

新人職員のアンケート結果では、ストレスの対処方法や他の人の解消法を知ることができて良かったという意見や楽しくグループワークができたなどの意見が多く、有意義な研修であったと思われる。入職した約半年で、ストレスを感じている研修生も多く、時期的にも良かったと考えている。

●第4回 日 時：平成 27 年 12 月 5 日（土）

新人参加者：34 名

講 演：「感染管理の基礎」

講 師：出水郡医師会広域医療センター 鳥越 玉美感染管理認定看護師

研修後の新人職員の情報交換会では、新人職員に「自分への励ましの手紙」を書き、それをグループ内で発表した。自分の気持ちや考えを相手に伝えることができ、更に励ましの言葉をもらった新人や自分の今の状況が整理できた新人もいた。相手の話に積極的に耳を傾け、相手の考え方や気持ちを受け止めることができ、効果的な研修であった。



●第5回 日 時：平成 28 年 2 月 20 日（土）

参加者：68 名（内新人職員：26 名）

テーマ：「在宅・医療・看護・介護の取り組み」について各施設からの発表会

新人職員の情報交換会では、新人が看護を体験していく中の「成功体験」を書き、良かったことをまとめ、グループメンバーに伝え、成功体験を共有した。看護技術を実践する時には、根拠をしっかり学習して臨むことの大切さを改めて学べたようである。



大島地区

教育委員会の活動

- 第1回 日時：平成27年6月13日 場所：奄美病院研修センター 参加者：85名
テーマ：「心と体を癒す家庭や医療で使えるアロマセラピー」
講師：アロマセラピスト 森永真由美先生
アロマセラピーを実際体験でき心も体も癒され、今後医療の現場や自分自身にもアロマを活用したいという感想が多く聞かれました。
- 第2回 日時：平成27年10月25日 場所：奄美病院研修センター 参加者：159名
テーマ：「一般病院医療従事者認知症対応力向上研修」
講師：介護老人保健施設 愛と結いの街 施設長 黒田明日嗣先生
認知症の方に接する正しい知識を身につけることができ、認知症の方とコミュニケーションや会話をするときにはその人がどう考えるか癖をとらえられれば対応しやすいことがわかり、現場で生かしていきたいという感想が聞かれました。
- 第3回 日時：平成28年2月13日 場所：県立大島病院 参加者：57名
テーマ：「感染防止対策の基礎」と「洗浄・消毒・滅菌」
講師：県立大島病院の感染管理認定看護師 佐藤ひろみ先生
テーマ：「感染経路別予防策」と「カテーテル感染対策」
講師：今村病院分院 感染管理認定看護師 吉森みゆき先生
研修受講者から、感染予防は普段からできているつもりでしたが、実は全然できていなかった部分に気づかされ、改めて標準予防策・感染経路別の必要性を強く感じています。また、感染経路をしっかりと把握して適切な予防・適切な対応をしていくことが大切で、常に感染に対する意識をもって取り組んでいきたい等の感想が聞かれました。



地域ケアサービス委員会の活動

「子育てサロン」「中高生向け進路ガイダンス」「グループホーム施設見学」「まちの保健室」「桜マラソン」「まなび・福祉フェスタ」の事業に参加し、地域住民との交流をとおして、健康相談、看護職のPR活動など、幅広く活動しています。平成27年度は、「まちの保健室」における健康相談に、薬剤師会会长、栄養士会会长の方々の協力により、充実した活動になりました。



大島地区医療安全情報ネットワークの活動

大島地区は現在、県立大島病院・大島郡医師会病院・奄美和光園・奄美病院・奄美中央病院・名瀬徳洲会病院・大島保養院（順不同）の7施設の参加があり、医療安全管理に関する情報交換を行い、自施設の課題を明確にし、医療安全管理者として資質の向上を目指しています。大島地区のモットーは「楽しく取り組もう医療安全対策」です。平成27年度は、3施設のラウンドを実施しました。大島地区における医療機関と医療安全管理に関する情報交換を行いながら施設間の交流を深め、今後の取り組みに役立てていきたいと考えています。

ナースセンターだより

Vol.116

平成 28 年度 ナースセンター事業

★就業相談事業（ナースバンク事業）

1. 就業相談：看護職や求人施設に対する相談
2. ハローワーク出前相談（9 地区）
鹿児島地区→ナースセンター相談員による実施
県内8地区(南薩・指宿・川薩・北薩・姶良伊佐・大隅・熊毛・大島)→地区相談員(委託)による実施

★訪問看護研修

1. 研修会について
 - 1) 訪問看護入門研修
 - 2) 訪問看護師養成研修
 - 3) 訪問看護管理者研修
2. 研修期間：6月3日～11月12日
*研修会により開催日時は異なります。
3. 募集期間：**4月4日（月）～5月2日（月）**
4. 実施要項は平成28年度教育研修計画または鹿児島県ナースセンターのホームページで御確認下さい。
5. お申込方法
受講申込書に必要事項をご記入の上、持参または郵送でお申し込み下さい。
申込書は看護協会ホームページ
<http://k-kango.jp/> からダウンロードできます。
*お問い合わせはナースセンターまで

募集中！

★再就業支援セミナー

1. 研修期間と内容
第1回 6月14日～24日のうち3日間
第2回 8月17日～26日のうち3日間
第3回 10月25日～11月4日のうち3日間
※講義2日間および実務研修1日間
2. 対象者：未就業の看護職（定員各20名）
3. 申込方法：看護協会ホームページから申込書をダウンロードし、メール、郵送、来所にてお申し込みください。

★技術支援セミナー（採血技術）

1. 開催日：毎月第4金曜日
(平成28年5月～平成29年2月まで)
2. 申込方法：毎月10日までにナースセンターに電話で申し込む
3. 協力医療機関：鹿児島大学病院
(鹿児島市桜ヶ丘)

★看護の心普及事業

1. 「看護の日」記念事業（看護週間行事）
2. ふれあい看護体験
(中高生・一般の方々が病院や施設で看護体験をすることが出来ます。)
3. まちの保健室
4. 出前授業
(学生を対象に看護職員が看護の魅力をお話します)
5. 進路相談
(看護職の資格取得方法等)

★その他

1. WLB：平成26、27年度からの参加施設報告会を11月開催
2. 看護師等免許保持者の届出制度の促進
3. ナースセンター・ハローワーク連携事業の促進
4. 看護学校訪問：鹿児島県下の看護大学・看護学校など
5. 求人施設と求職者をつなぐ交流会・施設見学会など





福祉バスツアーチェンジ記!

3月5日(土)、県社会福祉協議会が主催した「介護施設等職場見学バスツアーチェンジ記」の始良コースと北薩コースに就業相談員が1名ずつ体験参加してきました。始良コースでは霧島市にある「特別養護老人ホーム青葉の里」と、「介護付有料老人ホームヴィラ霧島さくら郷」を訪問しました。介護福祉士を目指す方々を対象とした見学ツアーチェンジでしたが、それぞれの介護施設で勤務されている看護師さんの様子も覗いてきました。実際に現場を訪問し、施設の方々の思いや雰囲気を肌で感じることができました。このような施設見学ツアーチェンジを、看護職の皆様向けに企画できたらと思っております。乞うご期待!



ナースセンタースタッフ紹介

※ナースセンターは、4名の就業相談員と事務1名のスタッフで活動しています。
看護職の相談員が、丁寧に対応いたします。ぜひナースセンターをご活用ください！

所長 窪田 美行

看護師としての現役を終えて5年が経過しました。いろいろ失敗を繰り返しながら、少しでも看護職の皆様が納得の行くお仕事探しができるよう支援したいと頑張っています。

事務 佐枝 克子

ナースセンターで働き始めて、一年がたちました。当初は聞きなれない言葉に戸惑い、冷や汗をかきながら毎日でした。直接、相談はお受け致しませんが、来所の方々を笑顔でお迎えしようと努めています。



ナースセンターから看護についていろいろな情報を提供しています！

※各種パンフレットは、出前授業などでご活用いただけますので、ご相談ください！

◆NCリーフレット

◆やっぱり看護のしごと（鹿児島県版）～かがやく自分をみつけよう～

やっぱり看護のシゴト（日本看護協会・編）



◆キラリ！看護の仕事

いろいろな看護のシゴトを動画で紹介しています

<http://www.nurse.or.jp/home/kango/>



◆はたさぼ（ナースのはたらくサポートブック）web版
看護学生や新人看護職員、再就業を目指す方に役立つ情報が日本看護協会のホームページ上に掲載されています。

はたさぼ

検索

ハローワーク連携事業

1月号でも紹介しましたが、ハローワークとナースセンターが連携して医療現場の人材確保を目指す事業が、平成27年10月から全国的に開始となりました。

ハローワークの圧倒的な知名度により、開始後6ヶ月を経て（平成28年3月末）、求人件数136件、求職者74名が当事業に参加・登録しました。そのことにより、当ナースセンターの求職者数と求人施設数、求人件数が拡大し、求職・求人双方にとっても選択の幅が広がる良い結果となっています。

少しでも就業を希望される看護職の皆さんのが自分の生活に合った働き方が出来、かつ将来のビジョンを見出すことが出来るよう今後も支援していきたいと思っております。

また、当ナースセンターでは「ハローワーク求人情報提供サービス」と「ハローワーク求職者情報提供サービス」の利用も可能となり、求職者・求人施設へのサービス向上に努めています。これらのサービスについては、随時、皆さんにご報告していきますのでご期待ください。

看護師等免許保持者の届出制度：とどけるん

平成27年10月からスタートした当事業ですが、鹿児島県ナースセンターでは先行的に昨年3月から取り組み、1年間で約450名の届出を受け付けました。これは全国で13位に値する数値で、喜ばしい限りです。反面、当県では離職者が多いということがあらわしております。今後はこの情報を整理し、再就業の意志がある看護職に対しては、個人にあった支援をしていくことが求められます。そのためには、次のステップとして届出からナースセンターへの求職登録をしていただくことが必要となります。個人情報保護のかべと「とどけるんシステム」の不備により、現在はスムーズに移行ができるていない状況です。現在は相談員の人海戦術で、可能な限り電話での確認作業を地道に行なっておりますので、該当された場合には御協力をよろしくお願い致します。



【求人・求職登録状況】

(平成28年2月)

- *新規求人情報 621件
- *新規求職者数 348人
- *就職者数 42人



鹿児島県ナースセンター

[看護師等無料職業紹介所 46-ム-010002]

★窓口・お電話でのご相談★

相談日：月～金 午前9:00～12:00
午後1:00～ 4:00

〒890-0064 鹿児島市鴨池新町21-5

TEL: 099-256-8025

FAX: 099-256-8079

mail: kagoshima@nurse-center.net

ホームページ <http://k-kango.jp/>

理事会報告

第6回理事会

日時：平成28年1月23日（土）13:30～17:00
人数：17名

◆ 協議事項

- 1 事業推進に関する事項
 - 1) 平成27年度鹿児島県看護協会事業検討会を踏まえての今後の取組について
 - 2) 平成28年度重点事業及び事業計画（案）について
 - 3) 平成28年度教育研修計画
- 2 管理的事項
 - 1) 諸規則の制定及び改訂関係
 - ① 平成29年度 日本看護協会代議員の選出について
 - ② 鹿児島県ナースセンター事業運営委員会設置要綱の改正について
 - ③ 医療事故調査支援委員会設置要綱（案）について
 - ④ 鹿児島県看護協会のロゴマークの募集について
 - 2) 平成28年度各委員選任について
 - 3) 会員支援関係
 - ① 平成28年度 鹿児島県看護協会名譽会員候補者について
 - ② 平成28年度 鹿児島県看護協会長表彰者の推薦について
 - ③ 平成28年度 看護業務功労者の表彰者の推薦について

★ 報告事項

- 1 事業推進に関する事項
 - 1) 研修事業について
 - 2) 看護職員就業相談事業
 - 3) 看護職員県内就業促進事業
 - 4) 桜島火山爆発総合防災訓練の参加について
 - 5) 施設代表者会議の開催について
 - 6) 地域医療構想検討委員会について
 - 7) 鹿児島県看護教育協議会と県訪問看護ステーション協議会との意見交換会
 - 8) 訪問看護相談支援事業について
- 2 管理的事項
 - 1) 平成28年5月の理事会について
 - 2) 議事録（理事会）
 - 3) 会員の入会状況について
- その他
 - 1) 平成28年度通常総会に向けての準備について
 - 2) 平成28年2月27日（土）の運営委員会について

毎回、日本看護協会理事会報告・職能委員会報告を口頭で、前回開催の理事会議事録・運営委員会議事録、各委員会報告・他団体会議報告・県外出張報告を書面で行っています。

表紙のリニューアルを考えています。
スタッフ紹介、白衣自慢などなど、看護師で表紙を飾ってみませんか？病院単位でも、病棟単位でもOKです。
応募は看護協会広報委員まで。

編集後記

みなさま、1月号の“看護師あるある”はいかがでしたか？色々な物がポケットに入ってましたね。

私たち広報委員も新しい発想で新企画を作っています。みなさまからのご意見をお待ちしております。

新年度もスタートします。新しい気持ちで頑張りましょう。

広報委員一同

第7回理事会

日時：平成28年3月19日（土）13:30～17:00
人数：15名

◆ 協議事項

- 1 基本方針
 - 1) 平成28年度重点事業及び事業計画について
 - 2) 教育事業について
- 2 事業推進に関する事項
 - 1) 診療報酬改定情報提供について
 - 3) 管理的事項
 - 1)～2) 平成28年度役員・職能委員・推薦委員候補者等について
 - 2) 諸規則の制定及び改正関係
 - (1) 公益社団法人看護協会定款及び定款施行細則の改定について
 - (2) 研究倫理委員会規約・取り扱いの改正について
 - 3) 平成27年度補正予算及び平成28年度事業予算について
 - 4) 平成28年度通常総会及びプログラム並びに議案について
 - 5) 平成28年度専務理事候補者及び常任理事候補者の選定について（定款第24条第4項）
 - 6) 事務局長の解任及び選任について（定款第36条第2項（3）号）
 - 4 会員支援関係
 - (1) 平成28年度 鹿児島県看護協会長表彰者の推薦について
 - (2) 平成28年度 鹿児島県看護協会名譽会員の推薦辞退について
 - (3) 平成27年度最終の会員数及び3月1日現在会員数
 - (4) 会員の福利厚生事業について（ハーモニーランド）

★ 報告事項

- 1 事業推進に関する事項
 - 1) 平成27年度教育事業について
 - 2) 看護職就業相談事業について
 - 3) 川薩地区看護職連携構築モデル事業の実施について
- 2 管理的事項
 - 1) 議事録（理事会）
 - 2) 平成28年度 看護業務功労者の表彰者の推薦について
 - 3) 看護師等養成校卒業式への対応について
 - 4) 平成27年度鹿児島県看護協会施設代表者説明会の開催について
 - 5) 職員の退職について

会員の訃報

会員の取附和成様（享年42歳）が2月3日に、植村広様（享年44歳）が3月7日に御逝去されました。会長名で生花をお送りいたしました。
心からご冥福をお祈り申し上げます。

看護専門職として
社会に貢献しよう



会員の増加と福祉の
向上のため活動しよう

公益社団法人 鹿児島県看護協会

鹿児島市鴨池新町21-5
TEL.099-256-8081 FAX.099-256-8079
URL <http://k-kango.jp>
E-mail kakankyo@orange.ocn.ne.jp